

# 夢の水素エネルギーを中原区に

川崎市議会議員 末永直



末永直 プロフィール

国立佐賀大学大学院  
教育学研究科卒業  
自民党参議院議員元秘書  
昭和58年5月27日 32歳  
政務活動事務所  
〒211-0034  
中原区井田中ノ町42-10  
問合せ先 ☎044-789-5823

川崎市と昭和電工株式会社  
社が、低炭素水素社会の実  
現に向けた連携・協力につ  
いて合意し、本年7月28日  
に協定を締結しました。昭  
和電工株式会社は、使用済  
プラスチックから水素を取  
り出し、その水素を活用し  
てアンモニアを製造できる

技術をもつ世界でも唯一の  
技術を持っています。今後  
取り出した水素を川崎臨海  
部の需要者にパイプライン  
で輸送し、純水素型燃料電  
池を活用しエネルギー利用  
する技術実証を行います。  
実に画期的な協定締結です。  
わかりやすく言えば、プ  
ラスチックゴミから水素と  
アンモニアが生まれます。  
水素は電気に。アンモニア  
は再びプラスチック製品へ  
とかわります。この循環が  
無限に繰り返されていくと  
いうことです。夢のよう  
です。ムダがない。実用化さ  
れば本技術が全国、全世  
界へと発信され、本市は世  
界からより一層一置かれ  
る都市になります。

今、水素は次の四つの理  
由から「究極のクリーンエ  
ネルギー」として注目され  
ています。①無尽蔵なエネ

ルギー（水の電気分解から）  
②ハイパワー（同じ重量で  
発熱量はガソリンの2・7  
倍）③クリーン（排出物は  
水のみ、焼却しても酸素と  
反応して水に戻るだけ）④  
エネルギー媒体（災害時で  
も燃料電池で電気と熱を長  
時間貯蔵、供給可能）とい  
った理由です。  
平成27年第3回定例会で  
一般質問を7月3日に行い  
ました。「移動式」よりも  
大量に水素を供給できる、  
「固定式の水素ステーション」  
は本年度までに横浜市  
では4カ所、東京都では9  
カ所設置予定であるにもか  
かわらず、川崎市はゼロ。  
設置の補助金も本市だけ  
口。本事実に対し、その理  
由と問題意識について質問  
したところ、「川崎市も入  
っている」『神奈川県水素社  
会実現ロードマップ』では、  
水素ステーションの整備イ  
メージとして、本市域内に  
おいては、臨海部のほか、  
中部、北部が示されている、  
と川崎市行政サイドがはじ  
めて発言しました。中原区  
に固定式水素ステーション  
ができる可能性が出てきま  
した。  
今後とも地元の皆様に水  
素エネルギーを身近に感じ  
ていただけるよう環境づく  
りに適進します。環境にや  
さしい、美しいまち、夢の  
あるまち「中原区」をお子  
さん、お孫さん達に残して  
いこうではありませんか！